

湘南地区の課題と観光地事例について

中庭ゼミ3年 小出健人

1, 背景と目的

神奈川県公式ホームページに記載されている神奈川県内の分類に従い藤沢・茅ヶ崎・平塚・大磯・二宮を湘南地区と定義した。

湘南地区はその知名度と観光資源に反して人口対観光客数が低いと考える。つまり地域外からの観光客数が少ないという事である。湘南地区に地域外からの観光客を呼び込むためには、どのような湘南観光が求められるか、他地域の事例と共に発表する。

2, 調査内容

湘南地区は海をベースにした観光地であるが、令和3年主要観光施設・主要観光行事別観光客数のデータをもとに、その対象者が県内に留まっていると考えた。

そこで県内にある観光資源を活用し、外からの観光客を増加させた観光地事例についてまとめた。

3, 特化型観光について

特化型観光とは他所との差別化、もしくは特定の需要に応える形で展開される観光の形態である。

メリットとして観光資源の新しい開発・比較的低規模な観光による地域住民への影響減が挙げられる。これらは観光資源に恵まれ、居住人口の多い湘南地域に当てはまる。

4, 総括

湘南地区に他地域から観光客を呼び込むためには豊富な観光資源を細分化し、観光客に何をさせるか・どのような属性を対象として考えるかが重要である。

それらを実現するために最適な観光の形態が特化型の観光である。